

## にし阿波振興計画(案)の概要

## 基本構想編

10年先を見据えた 施策全体に共通する  
 <ビジョン> <基本方針>  
 (計画コンセプト)



計画イメージイラスト

地域と創る! にし阿波の新未来

□ 未来につながる  
「ひと」づくり

□ 安全・安心が支える  
「くらし」づくり

□ 魅力と活力あふれる  
「しごと」づくり

## 基本計画編 ~「基本構想編」を実現するために5年間で取り組む重点施策~

## 1 観光・交流によるにぎわい創出 (海外プロモーション、観光コンテンツ拡充、教育旅行の強化 など)

- ◆東アジア、東南アジア、欧米等からのインバウンド誘客拡大、  
中四国全エリアからにし阿波への誘客を図る「プラチナルート」創出
- ◆にし阿波体験観光キャンペーンを通じた  
「歴史・文化・自然体験プログラム」の発掘・拡充
- ◆「農泊」施設の受入体制の充実強化 など



教育旅行

## 2 豊かな自然環境の未来への継承 (剣山等の自然環境保全・魅力発信、鳥獣対策、生活環境保全 など)

- ◆剣山等の自然環境保全を担う人材育成・魅力発信
- ◆環境と調和のとれた「持続可能な農業」の推進、野生鳥獣の適正管理
- ◆「にし阿波循環型林業支援機構」による造林促進、  
良好な大気・水・土壌環境の保全 など



剣山環境保全・魅力発信

## 3 安全・安心な地域づくりの推進 (地域防災、インフラ整備、家畜伝染病対策 など)

- ◆能登半島地震の課題を踏まえた「県庁バックアップ機能」等の強化
- ◆土砂災害対策・道路等の「着実なインフラ整備」、  
大雪に備える「事前対策」の推進
- ◆鳥インフル等に備えた家畜防疫体制の強化 など



防災出前講座

## 4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現 (子育て支援、障がい者支援、糖尿病対策 など)

- ◆妊娠・出産・子育てを地域全体で支える「チーム育児」の推進
- ◆「にし阿波型農福連携」の取組強化、  
パラスポーツを通じたにぎわいづくり
- ◆地域課題である糖尿病等の「生活習慣病」対策の充実 など



パラアスリート・スポーツ交流会

## 5 ひとを惹きつけるにし阿波のしごとづくり (定住・移住促進、世界農業遺産、農業・林業振興 など)

- ◆地元回帰・定着に向けた「地元高校生と先輩社会人の交流」機会の創出
- ◆世界農業遺産「傾斜地農耕システム」の魅力発信と次世代継承
- ◆“強み”を活かした新たな産地形成「にし阿波いちごタウン」
- ◆森林クラウド導入によるスマート林業の実装、  
三好林業アカデミーと連携した担い手確保 など



にし阿波いちごタウン

にし阿波振興計画（案） KPI（重要指標）一覽

重点戦略（ビジョンを実現するための政策群）	（'22） 基準値	（'28） 目標値
KPI（重要指標）		
<b>1 観光・交流によるにぎわい創出</b>		
総延べ宿泊者数	170,634人	240,000人
外国人延べ宿泊者数	2,083人	36,500人
日本人観光客の観光消費額（1人当たり）	24,967円	33,000円
農泊施設の延べ利用者数	4,945人	10,000人
<b>2 豊かな自然環境の未来への継承</b>		
自然環境調査・保護活動等への参加人数	39人 <small>（※2020年度～2022年度平均）</small>	40人
有害鳥獣による農作物被害金額	1,869万円	1,680万円
循環型林業に向けた造林面積	103ha	115ha
合併浄化槽の設置割合	41%	46%
<b>3 安全・安心な地域づくりの推進</b>		
自主防災組織の組織率	92.9%	100%
土砂災害の危険性のある要配慮者利用施設及び避難所の保全施設数（累計）	178施設	184施設
山地災害対策等による保全人家数（累計）	238戸	358戸
「防災重点農業用ため池」の防災工事完了箇所数（累計）	4箇所	8箇所
<b>4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現</b>		
圏域平均自立期間	男性：79.28年 女性：83.35年	延伸
パラスポーツ交流会参加者数	222人	350人
圏域における糖尿病死亡率（人口10万対）	2021年実績 23.0 <small>（※2017年～2021年平均）</small>	減少
<b>5 ひとを惹きつけるにし阿波のしごとづくり</b>		
新規就農者数（累計）	5人	40人
新規林業就業者数（累計）	13人	50人
商談会等によるマッチング件数（累計）	37件	175件